

一覧詳細

1	対象となるがん	子宮体がん
2	使用される新薬(治験薬)	レンバチニブ、ペムブロリズマブ
3	実施方法(治験のデザイン)	第Ⅲ相無作為化多施設共同非盲検試験
		A群:レンバチニブ+ペムブロリズマブ
		B群:パクリタキセル+カルボプラチン
		※この治験に参加した患者さんは、A群、B群のいずれかの治療を受けることになります。
		※A群になるかB群になるかはわかりません。
4	治験に参加いただける患者さんの 身体状況(患者選択基準) ※患者選択基準の概要の一部で す。	①年齢が18歳以上の患者
		②組織学的に確定診断されたⅢ期、Ⅳ期又は再発の子宮体癌患者であり、盲検下の中央画像判定機関(BICR)による評価で、RECIST 1.1に基づく測定可能病変又は測定不能病変(画像上明らかなもの)を有する患者。
		③過去に子宮体癌に対する全身性の化学療法を受けたことのない患者
		④放射線照射を受けていない腫瘍病変から採取した保存検体若しくは新たに採取したコア又は切除生検検体の提出が可能な患者
		⑤治験薬初回投与前7日以内のECOG PSが0又は1の患者
		⑥高血圧治療薬の使用有無を問わず、血圧が適切にコントロールされている患者
		⑦適切な臓器機能を有する患者
		⑧
		⑨
		⑩
5	治験責任医師	腫瘍内科 松本 光史 先生

知的財産権の保護等の理由により、非公開の要望のあった項目については、表中の項目を「-」としています。